

緊急
シンポジウム
-Zoom 開催-

どう見る!? 「こども誰でも通園制度」



少子化問題が深刻さを増す中、国は、異次元の少子化対策の具体化として「こども未来戦略」を発表しました。その中で提案されたのが「こども誰でも通園制度（仮称）」です。

この制度の提案から1年もたたないうちに、法案が国会に上程されました（2月16日）。国は、子育て世帯の保護者や保育現場の保育者など直接関わる当事者・関係者に、制度の内容を知らせたり意見を聞くこともなく、とにかく実施ありきで進めようとしているように見えます。しかし、生後6か月から2歳の乳幼児を対象とする制度を新しく作るというのに、こんなに慌てて、関係者の論議も不十分なまま進めていいのでしょうか。

そこで、保育現場や保護者として、この制度をどう見るか考える機会として、緊急でシンポジウムを企画します。様々な視点からの発言をもとに、この制度をどう見るか・現場や一人ひとりの職員・保護者から何を発信すべきか、などを考える機会にしたいと考えます。

日時

2024年3月2日（土）

10:00～13:00（Zoom 開催）

内容

- 「こども誰でも通園制度」の概要と論点
逆井直紀（保育研究所）
- 保育現場から「こども誰でも通園制度」を考える
小西文代（愛知・新瑞福社会）
- 子どもの育ち・発達の視点から考える
白石正久（龍谷大学名誉教授）
- 保護者の立場から
阿部一美（赤ちゃんの急死を考える会）
- 自治体の動き
大阪保育運動連絡会・群馬県保育問題連絡会
（敬称略）

参加
方法

- ・ 右のQRコードからお申し込みください→
（申込み完了後、登録したメールにZoom情報が届きます）

【注】QRコードでの申込みが難しい場合
下記まで、メール・FAXにてご連絡ください
（都道府県・お名前・所属等を明記の上）。



* 参加費無料

主催：全国保育団体連絡会

電話 03-6265-3171 / FAX 03-6265-3230

メール info@hoiku-zenhoren.org

〒162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ内



イラスト：近藤理恵